島根大学医学部地域医療実習満足度調査結果

勝部　琢治[1)2)]，小野　悦盛[2)3)]，森脇　義弘[2)4)5)]，板持さとみ[2)6)]，
奥田　淳三[2)4)5)]，永瀬　正樹[2)5)7)]，太田　龍一[2)5)7)]

要　旨：平成27，28年度に当院で必修地域医療実習を行った島根大学医学部５年生14名と15名，各種選択実習を行った６年生３名と５名の実習終了時に行われた記名制の満足度調査の結果を後ろ向きに検討した。調査の記載項目は，①基本スケジュールの内容，②担当の指導や指導体制，③外来・手術などの参加・見学，④訪問実習について，⑤体験や経験の機会について，⑥宿泊施設について，⑦食事や研修部屋など環境について，⑧職員のサポート，要望への対応について，⑨総合評価，などで，５段階で評価した。平成27，28年度の全ての項目で５年生，６年生とも高い満足度が得られ，「あまり満足でない」，「不満足」の回答はなかった。「どちらでもない」の回答は，①の平成28年度の５年生，③の平成27，28年度の５年生と平成27年度の６年生，⑤の平成27，28年度の５年生，⑥の平成28年度の５年生，⑦の平成28年度の５年生，⑧の平成27年度の５年生でみられた。

キーワード：医学生教育，地域医療人育成センター，暮らし体験

（雲南市立病院医学雑誌　2016; 13(1): 57-61）

はじめに

島根大学医学部では，平成18年度から，医学部６年生に対して県内の医療機関（出雲市・松江市以外のへき地）で３週間の泊まりがけの地域医療実習を始めた。平成24年度からは，５年生に対して必修科目として，６年生には選択科目として実施しており，現在では県内約50の医療機関において実施している。これら地域医療実習は，大学病院では学ぶことが難しいプライマリ・ケアの実際を体験でき，また，自らが地域のニーズを肌で知ることができるため，医学生の地域医療に対する動機付け向上に重要な役割を担っている。

今年度（平成28年度），当院では５年生を15名（延べ22週），６年生を５名（延べ18週），合計20名（延べ40週）の医学生を受入れ，地域医療実習を行った。今後の実習に向けての課題を明らかにするため実習終了後，学生に対し実習全般に関する満足度調査を実施している。今回，最近の結果を分析したので報告する。

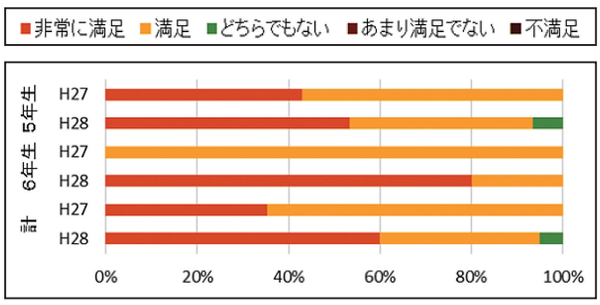
対象と方法

平成27年度と平成28年度に当院で必修地域医療実習を行った島根大学医学部５年生14名と15名，各種選択実習を行った６年生３名と５名を対象とした。実習終了時に行われた記名制のアンケート形式の満足度調査の結果を後ろ向きに集計，検討した（**図１**）。満足度調査自体は，当院地域医療人育成センターの業務として，本研究とは無関係に以前から行われてきたもので，記載された調査票は地域医療人育成センター事務局が回収し，後日指導医に配布した。満足度調査の結果は学生実習の評価対象とならないことを学生に約束している。

[1)] 雲南市立病院総務課，[2)] 雲南市立病院地域医療人育成センター，[3)] 雲南市立病院検査技術科，[4)] 雲南市立病院外科，[5)] 雲南市立病院地域総合診療科，[6)] 雲南市立病院看護科，[7)] 雲南市立病院内科
著者連絡先：勝部琢治　雲南市立病院総務課〔〒699-1221 雲南市大東町飯田96-1〕
E-mail: katsube-takuji@city.unnan.shimane.jp
（受付日：2016年12月28日，受理日：2017年２月24日）

図１　満足度調査票の実際

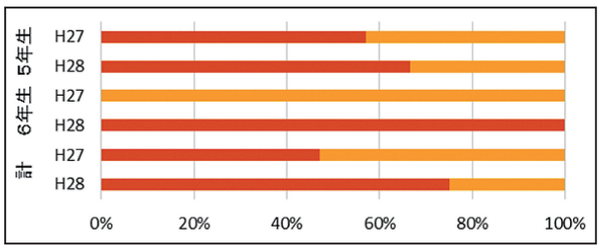
調査結果



①基本スケジュールの内容

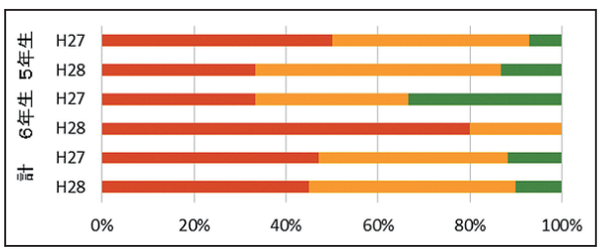
		非常に満足	満足	どちらでもない	あまり満足でない	不満足
5年生	H27	6	8	0	0	0
	H28	8	6	1	0	0
6年生	H27	0	3	0	0	0
	H28	4	1	0	0	0
計	H27	6	11	0	0	0
	H28	12	7	1	0	0

②担当の指導や指導体制



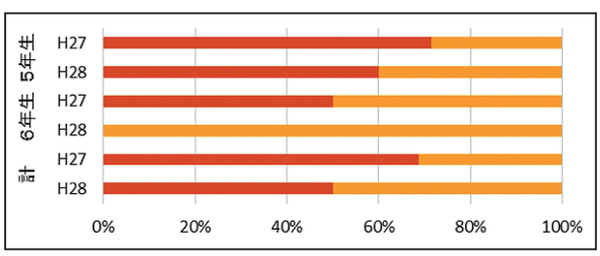
		非常に満足	満足	どちらでもない	あまり満足でない	不満足
5年生	H27	8	6	0	0	0
	H28	10	5	0	0	0
6年生	H27	0	3	0	0	0
	H28	5	0	0	0	0
計	H27	8	9	0	0	0
	H28	15	5	0	0	0

③外来・手術などの参加・見学



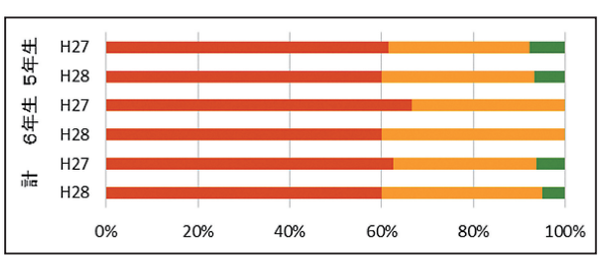
		非常に満足	満足	どちらでもない	あまり満足でない	不満足
5年生	H27	7	6	1	0	0
	H28	5	8	2	0	0
6年生	H27	1	1	1	0	0
	H28	4	1	0	0	0
計	H27	8	7	2	0	0
	H28	9	9	2	0	0

④訪問実習について



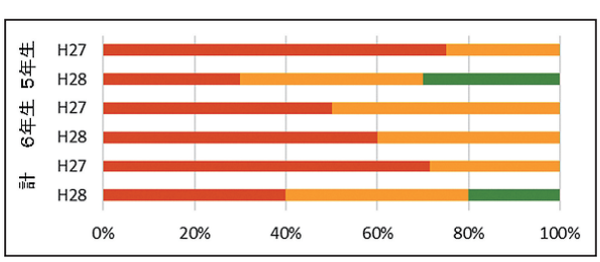
		非常に満足	満足	どちらでもない	あまり満足でない	不満足
5年生	H27	10	4	0	0	0
	H28	6	4	0	0	0
6年生	H27	1	1	0	0	0
	H28	0	2	0	0	0
計	H27	11	5	0	0	0
	H28	6	6	0	0	0

⑤体験や経験の機会について



		非常に満足	満足	どちらでもない	あまり満足でない	不満足
5年生	H27	8	4	1	0	0
	H28	9	5	1	0	0
6年生	H27	2	1	0	0	0
	H28	3	2	0	0	0
計	H27	10	5	1	0	0
	H28	12	7	1	0	0

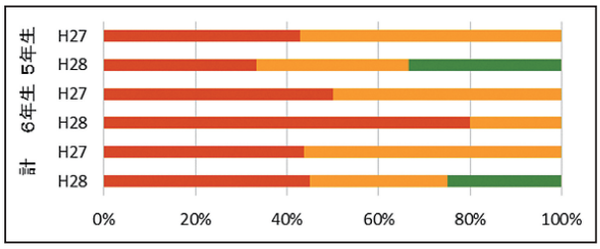
⑥宿泊施設について



		非常に満足	満足	どちらでもない	あまり満足でない	不満足
5年生	H27	9	3	0	0	0
	H28	3	4	3	0	0
6年生	H27	1	1	0	0	0
	H28	3	2	0	0	0
計	H27	10	4	0	0	0
	H28	6	6	3	0	0

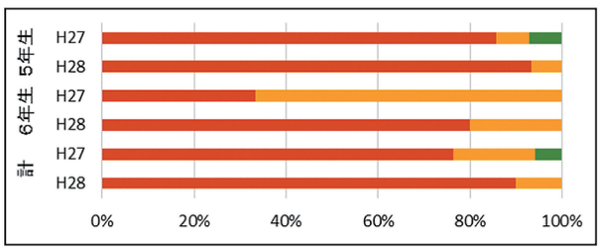
⑦食事や研修部屋など環境について

		非常に満足	満足	どちらでもない	あまり満足でない	不満足
5年生	H27	6	8	0	0	0
	H28	5	5	5	0	0
6年生	H27	1	1	0	0	0
	H28	4	1	0	0	0
計	H27	7	9	0	0	0
	H28	9	6	5	0	0



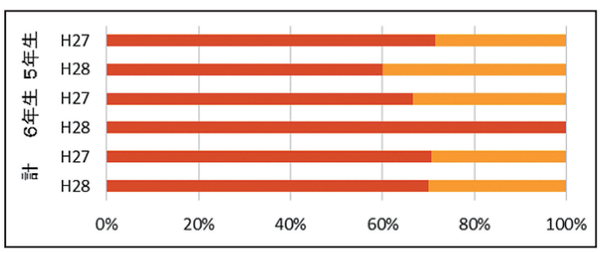
⑧職員のサポート，要望への対応について

		非常に満足	満足	どちらでもない	あまり満足でない	不満足
5年生	H27	12	1	1	0	0
	H28	14	1	0	0	0
6年生	H27	1	2	0	0	0
	H28	4	1	0	0	0
計	H27	13	3	1	0	0
	H28	18	2	0	0	0



⑨総合評価

		非常に満足	満足	どちらでもない	あまり満足でない	不満足
5年生	H27	10	4	0	0	0
	H28	9	6	0	0	0
6年生	H27	2	1	0	0	0
	H28	5	0	0	0	0
計	H27	12	5	0	0	0
	H28	14	6	0	0	0



満足度調査項目

満足度調査の記載項目は，①基本スケジュールの内容，②担当の指導や指導体制，③外来･手術などの参加･見学，④訪問実習について，⑤体験や経験の機会について，⑥宿泊施設について，⑦食事や研修部屋など環境について，⑧職員のサポート，要望への対応について，⑨総合評価，などとした。

評価は，いずれの項目も，１：非常に満足，２：満足，３：どちらでもない，４：あまり満足でない，５：不満足の５段階評価とし，評価した理由について自由記述欄を設け記載を求めた。

平成27年度地域医療実習満足度調査結果と平成28年度の調査結果と比較を行った。

結　　果

平成27年度，28年度の全ての項目で５年生，６年生とも高い満足度が得られ，「あまり満足でない」，「不満足」の回答はなかった。「どちらでもない」の回答は，「①基本スケジュールの内容」で平成28年度の５年生，「③外来・手術などの参加・見学」の平成27，28年度の５年生と平成27年度の６年生，「⑤体験や経験の機会について」の平成27，28年度の５年生，⑥宿泊施設について」の平成28年度の５年生，⑦食事や研修部屋など環境について」の平成28年度の５年生，「⑧職員のサポート，要望への対応について」の平成27年度の５年生でみられた。

考　　察

今回は，平成27年度と平成28年度の５年生，６年生の地域医療実習へのアンケートの結果をまとめ比較した。今回のアンケート結果は，当院での実習が医学生に十分満足して貰えていることを示している。

当院での医学生実習は，医師の診療活動への同行やこれに伴う患者との接触，医療行為の実技体験だけでなく，看護や介護，リハビリテーションの見学や体験，医療・介護保険制度や地域包括ケア制度の理解，健康推進や疾病予防活動などの健康管理の見学や体験，当院で正規採用としている調理師が調理する病院食の検食体験や栄養管理の理解，さらには，病院での医療を離れ地域内で住民の生活に触れながら地域内での医療や健康管理の課題を探る「暮らし体験」など独自のプログラムを多数用意してきた。実習にあたっては，各診療科医師，地域医療人育成センターをはじめ，院内各部署の職員だけでなく，患者団体や住民にも医学生実習，医学生教育に参加してもらい，地域全体で医学生を育てるという自覚を持って貰えるように配慮して

きた。

教育は，業務や生活の中で負担となりうるが，実習中は指導者や教育者の立場となった職員も，医学教育の重要性を理解し積極的に指導にあたってくれたものと思われ，この積極的な姿勢が学生の満足につながったと思われる。逆に，当院での実習を満足と感じてくれる学生の存在が，当院職員や当地の住民の医療，看護，介護活動や健康管理活動への自信となったとも期待できる。今回の調査結果は，当院での医学生実習が，指導を受ける医学生にとっても，指導にあたった当院職員や地域住民にとっても充実した満足のゆくものとなり，双方向からの相乗効果が得られた比較的理想的な教育となっていった可能性も示唆すると思われる。

一方，本アンケートは記名制で，学生評価が行われる以前の実習終了時に，実習の評価者である指導者に手渡されている場合が多く，否定的意見は記載しにくい状況も考えられる。また，そもそも，５年生の必修実習でも６年生の各種選択実習でも，当院を実習先に選択した学生は，最初から当院に興味を持ち当院に好意的な学生であったとも考えられる。対象症例が非常に少数でもあり，当院の実習プログラムの評価の全容を表しているとは言いがたい。

ま　と　め

当院での医学生の地域医療実習アンケート結果から，担当の指導や指導体制，訪問実習については「どちらでもない」「あまり満足ではない」「不満足」の評価はなく，当院の実習の中で相対的に評価が高かった。また，総合評価においても同様であった。院内での指導体制と院外での独自プログラムが評価され，医学生が十分に満足していることが示唆された。

謝　　辞

中小規模病院でのぎりぎりの人的資源による多忙な業務の中，協力して医学生の実習指導にあたってくれた職員，ならびに実習に協力し医学生を育てる一翼を担ってくれた患者さん達に深謝いたします。

Analysis of answers for satisfaction survey in medical students of Shimane University.

Takuji Katsube[1)2)], Etsumori Ono[2)3)], Yoshihiro Moriwaki[2)4)5)], Satomi Itamochi[2)6)], Junzo Okuda[2)4)5)], Masaki Nagase[2)5)7)], and Ryuichi Ohta[2)5)7)]

[1)] General affairs division, Unnan City Hospital, [2)] Cultivation center for regional medical human resources, Unnan City Hospital, [3)] Department of clinical examination, Unnan City Hospital, [4)] Department of surgery, Unnan City Hospital, [5)] Department of regional general medicine, Unnan City Hospital, [6)] Department of nursing care, Unnan City Hospital, [7)] Department of internal medicine, Unnan City Hospital

Correspondence: Takuji Katsube, General affairs division, Unnan City Hospital〔96-1 Daito-cho Iida, Unnan, Shimane 699-1221, JAPAN〕

Telephone: 0854-43-2390 / Fax: 0854-43-2398

E-mail: katsube-takuji@city.unnan.shimane.jp